



丸之内1丁目、東京驛前、中央郵便局と相對するところに昨年1月より起工された鐵道省新廳舎は此程約6,000噸の鐵骨を組み了り上棟式を舉行した。

新廳舎は鐵骨鐵筋コンクリート造、地上8階地下1階建て、高さ地上31米、建坪4,454平方米、延40,090平方米、之に第二期工事の分18,602平方米を合すれば、實に60,000平方米の摩天樓が現出される譯である。

設計は鐵道省工務局建築課、東京改良事務の監督に係り、基礎は飛鳥組、鐵骨の製作及組立は横河橋梁製作所の請負である因に新廳舎の完成は和昭13年3月の豫定である。寫眞は組み上つた鐵骨を東京驛前廣場（丸ビル方面）より見たるもの。

## 鐵道省新廳舎鐵骨竣功